

ふくろい子育てハンドブックはなさき 2023

報告書



目次

1. 発行冊子名	1
2. ハンドブック概要	1
3. アンケートの目的・対象・方法	2
4. アンケート実施期間・回答数・質問内容	2
5. アンケート結果	3
①回答者の立場	3
②ハンドブックのわかりやすさ	4
③ハンドブックの役立ち度	5
④今後の発行形式(冊子 or データ)の希望	6
⑤子育てハンドブックに追加で入れて欲しい情報	7
⑥袋井市の子育てに関する意見	8
⑦その他、全体に関する意見	11
6. 編集委員会からの意見	14
アンケート設問に関する編集委員の意見	14
7. 考察	14
ハンドブックを冊子で発行する意義	14
令和6年度のハンドブック発行について	15

1. 発行冊子名

ふくろい子育てハンドブックはなさき 2023

2. ハンドブック概要

子育て中の市民有志メンバーが編集委員会を設立し、袋井市で初めて、乳幼児から小学生を主な対象とした子育て支援情報を一元的に掲載したハンドブックを作成した。

掲載内容

ハンドブックの掲載内容は、子育てに関わるすべての方々に有用な情報である、各園や子育て支援センターなどの公的な機関の情報や、袋井市内外の相談機関、民間のボランティア団体の情報である。また、発達が気になる子どもやサポートが必要な子どもを持つ親が必要な情報について、体験談も掲載しながら、より具体的に記載している。

発行の目的

ハンドブックを発行することで、今後、子育て支援情報にアクセスが容易になり、子育てに関わるすべての方々が地域資源を知ることで、「支え合う子育て環境の充実」につながると考える。

費用

ハンドブック作成に係る費用は、「令和4・5年度袋井市協働まちづくり事業」や市民の方々からの寄付と企業協賛で賄われた。また、作成にあたって、袋井市役所・袋井市議会の協力を得て発行に至る。

発行部数

今回は10,000部印刷し、各園や小学校、特別支援学校小学部を通じて、袋井市内の子育て中の各家庭に配布し、協賛企業、医療機関、ボランティア団体、公共施設等にも配布・配架した。

3. アンケートの目的・対象・方法

目的：今後の継続発行についてニーズを知るためにアンケートを実施した。

対象：ハンドブックを一読していただいた、すべての方を対象とした。

方法：すべて「Google フォーム」を用い、オンラインで回答を収集した。

- ① ハンドブック本文に「アンケートにご協力ください」の項目を作成し、Google フォームへの QR コードを記載した。
- ② ハンドブックを関係機関へ配布する際の鏡文に Google フォームへの QR コードを記載した。
- ③ 「ふくろい子育てハンドブックはなさき公式ホームページ」にハンドブックデータのページを作成し、Google フォームへのリンクを作成した。

4. アンケート実施期間・回答数・質問内容

期間：令和5年7月5日（水）～9月4日（月）

回答数：78件

質問内容：

- ①あなたの立場を教えてください
- ②ハンドブックはわかりやすかったですか？
- ③ハンドブックは役に立ちそうですか？
- ④今後のハンドブックは、冊子・データどのような形での発行を希望しますか？
- ⑤子育てハンドブックに追加で入れて欲しい情報があれば教えてください
- ⑥袋井市の子育てに関して、何かご意見がありましたら、教えてください
- ⑦その他、何かご意見があれば教えてください

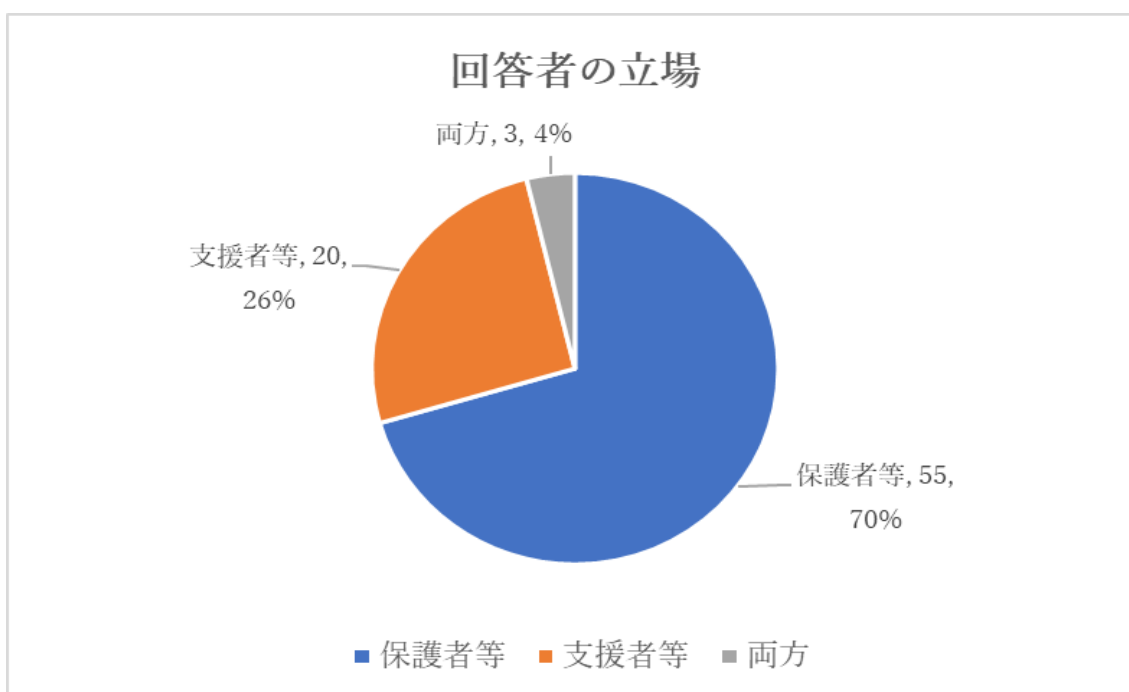
5. アンケート結果

①回答者の立場

保護者等 55件 70%

支援者等 20件 26%

両方 3件 4%

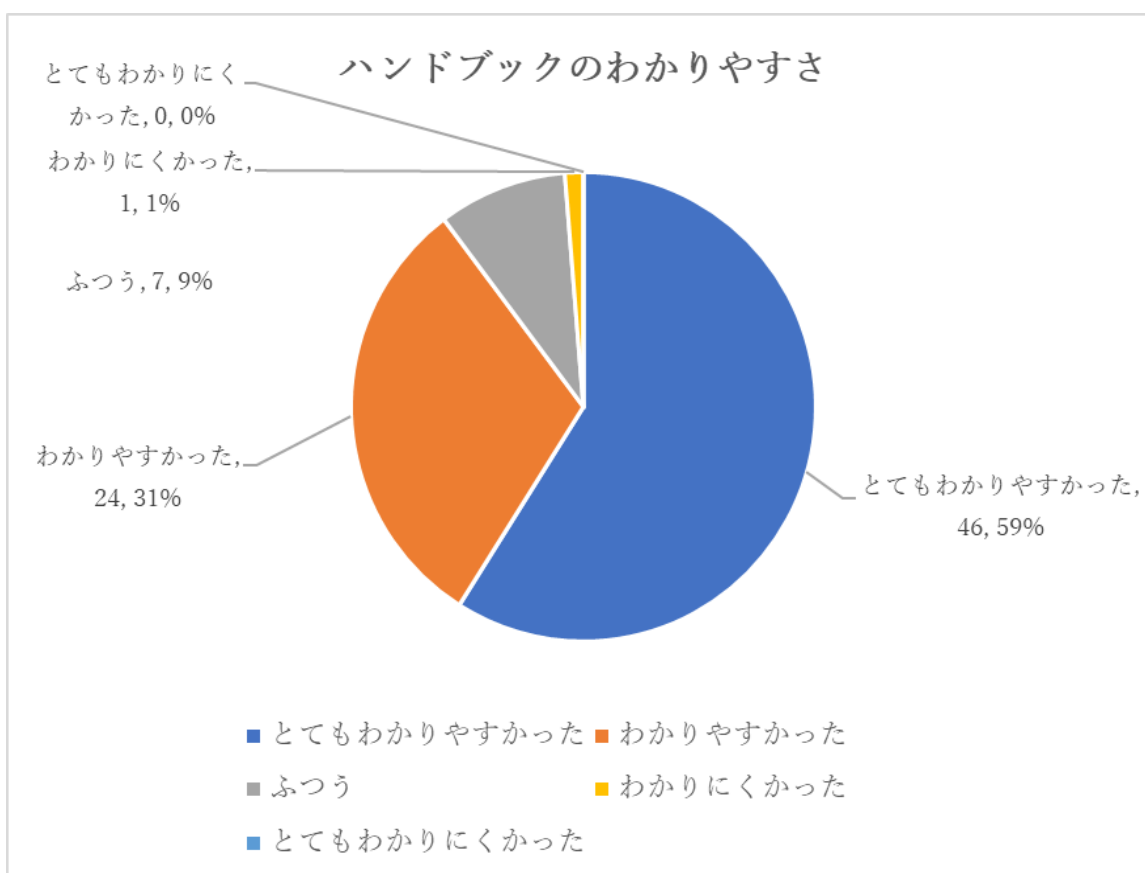


結果

- ・ 回答者は保護者等の立場が 70%だった。支援者等は、保育士、教員、民生委員等が含まれる。

②ハンドブックのわかりやすさ

とてもわかりやすかった	46件	59%
わかりやすかった	24件	31%
ふつう	7件	9%
わかりにくかった	1件	1%
とてもわかりにくかった	0件	0%

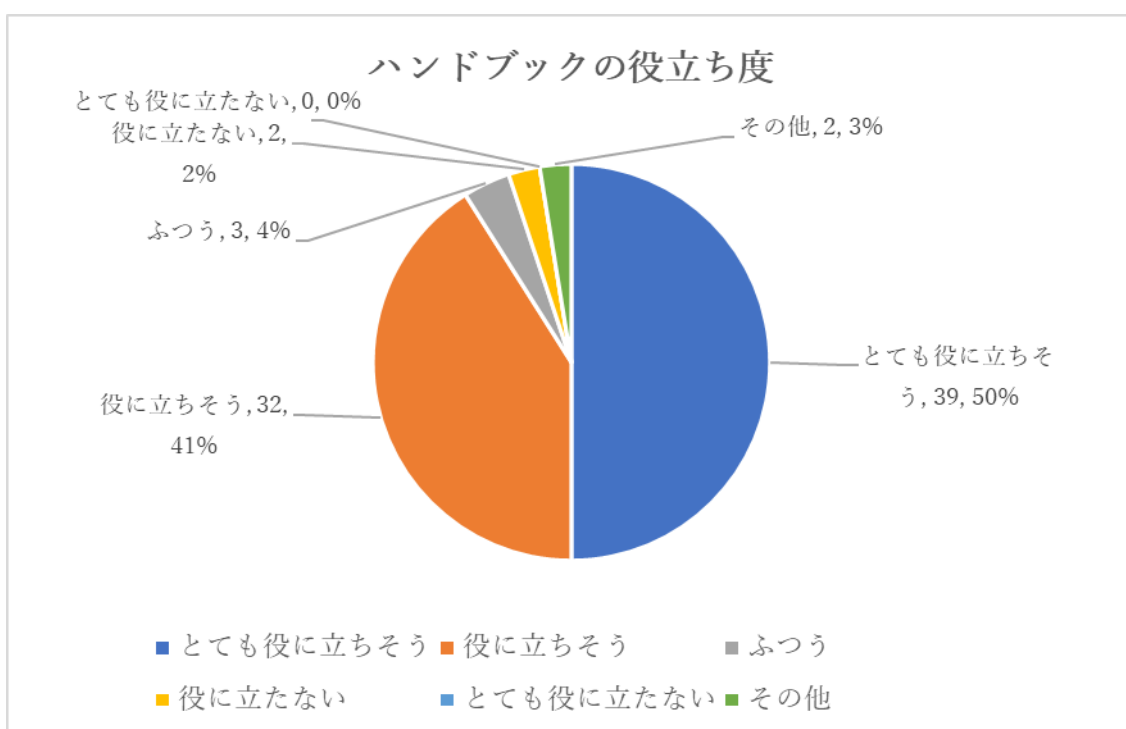


結果

- ・ 「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせると、回答者の90%となる。

③ハンドブックの役立ち度

とても役に立ちそう	39件	50%
役に立ちそう	32件	41%
ふつう	3件	4%
役に立たない	2件	2%
とても役に立たない	0件	0%
その他	2件	3%

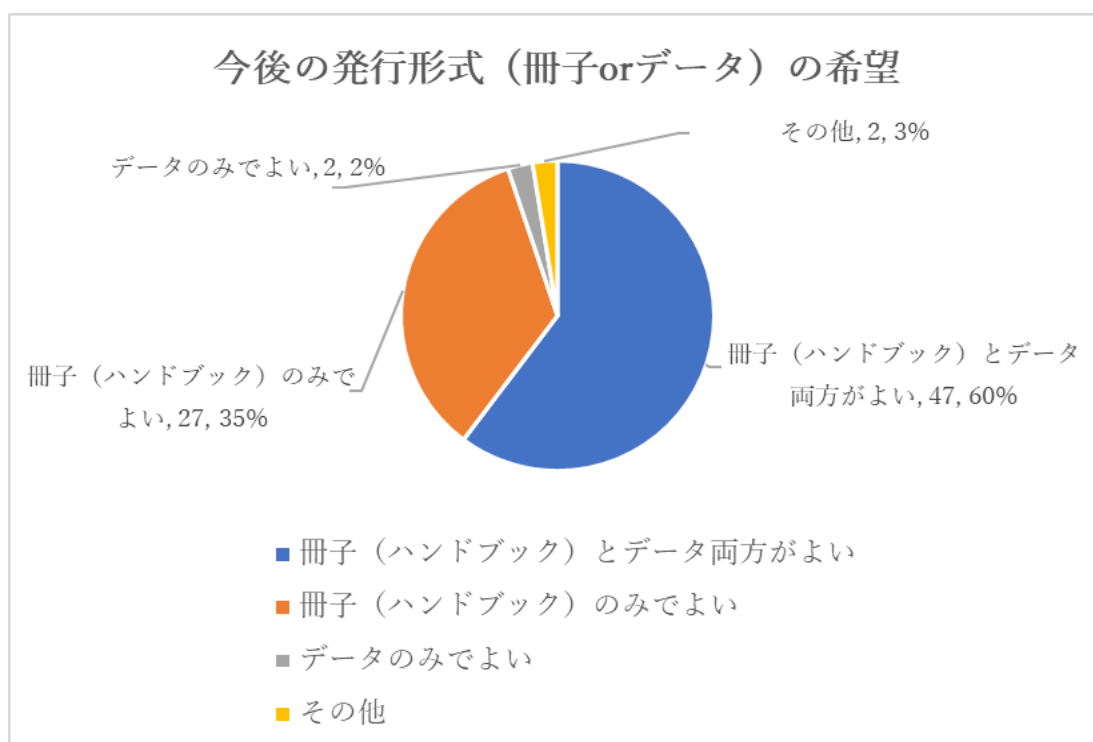


結果

- ・ 「とても役に立ちそう」「役に立ちそう」を合わせると、回答者の91%となる。
- ・ 「その他」として、「年齢」や「項目」によって役立ち度が変わるという意見あり。

④今後の発行形式（冊子 or データ）の希望

冊子（ハンドブック）とデータ両方がよい	47件	60%
冊子（ハンドブック）のみでよい	27件	35%
データのみでよい	2件	2%
その他	2件	3%



結果

- ・ 「冊子（ハンドブック）とデータ両方がよい」「冊子（ハンドブック）のみでよい」を合わせると、回答者の95%となる。
- ・ 「その他」として、無回答、低年齢の頃は冊子で、更新情報をインターネット上にアップロードして欲しいという意見があった。

⑤子育てハンドブックに追加で入れて欲しい情報

園の一時預かり

- ・ 毎日預けるほどではないが、預けたいときにショートマ・パ以外の情報は一つ一つ園に問い合わせるしかないため。

医療機関

- ・ 産婦人科や小児科、発達に関する病院の情報（カウンセリング含む）。

習い事や放課後等デイサービスについて

- ・ 子どもの習い事（ピアノ教室、水泳教室、習字等）の情報。
- ・ 放課後等デイサービスなどではない、発達特性のある子たちも通える習い事の情報。
- ・ 各放課後デイサービスの特徴。送迎可能な学区を入れて欲しい。

公園や公共施設について

- ・ 市内の公園一覧の URL のみではなく、写真付きで詳しく載せて欲しい。
- ・ 公共施設のメールアドレス。

子連れで出かける際の情報

- ・ 袋井市内で子供と一緒に遊びに行けるおすすめスポット（神社や公園、スポーツ施設など）、託児のある美容院や子連れで外食をしやすいお店など。
- ・ 市内で「しずおか子育て優待カード」が使える場所の紹介、施設内の授乳室の有無情報など。

進路等

- ・ もう少し上の年齢にも対応して就労へつながるサービスまで情報が見られるようにして欲しい。障害を持つ子どもたちの、小学校から先の進路のおおよその流れが見えていると、こどもの将来像が描きやすい。

その他

- ・ 妊婦健診の回数や補助金についてなどあるとよい。
- ・ 思春期の子ども（本人）の悩み相談が出来る場所。
- ・ クーポン。
- ・ 市内には、外国籍の子育て世代の方も多く、可能であれば、ポルトガル版等があると良い。

⑥袋井市の子育てに関する意見

療育について

- ・療育の部分で今以上に連携をとれる市であってほしい。
- ・毎日通園ができる児童発達支援事業所が増えることを願う。市外の児童発達支援事業所に通う子どもが増えてきていると思うので。
- ・保育園児も継続して通える様な療育施設があったら、助かった。

ハンドブックの感想

- ・今回、子育てハンドブックを読んで袋井市には沢山の子育て支援が充実している事が分かった。
- ・冊子はとてもわかりやすく、まとめてくれてあるので、知りたい情報が一目瞭然。1から自分で調べることを考えたら、保護者側からすると、とても有難いと思う。
- ・今回、このようなハンドブックが出来たことは大きな一歩だと思うが、かつて我が子が支援が必要とわかった時に、その時どきの選択肢については、先生や育児支援のスタッフさんと相談できるものの、この先のどんな将来につながるのかが、全く見えなかった。勿論、個々の特質や成長の差があり一概には言えないものではあるが、それでも、チャートのようなものを早めに教えて欲しいと感じていた。中学に入学して初めて、その後の進路について説明を受けたが、入学前に知っておくべきだと思う。小学校と中学校の支援学級は内容がかなり違うので、入級後に驚きがあった。

子どもが遊ぶ施設や公園について

- ・市内、近隣に屋内で子どもを遊ばせられる施設がないのが残念。
- ・支援センター職員の方に、もう少し小学生の子が遊べたら良いのにと話したら、「小学生は公園で遊べば良いだよ」ととても雑にあしらわれてガッカリした。その公園も雨の日は遊べない。未就園児と小学生両方を連れて公園で遊ばせるのが大変なこともある。屋内だったら、両方遊ばせやすいと思うこともある。
- ・土日に開放している支援センターがもう一つくらいあるといい。支援センターの時間の区切りをなくしてほしい。
- ・コロナが落ち着いてきたら、子育て支援センターなどで子どもを連れて昼食

をみんなで食べたり、イベントが再開できると良い。

- ・ 年々夏の最高気温が高くなり、夏は屋外で遊べない。市内にはカンガルーのぽっけや支援施設がいくつかあるが、主に未就学児向けで就学児はほとんど利用できない。ぽっけにある体を動かして遊べる遊具は全て未就学児向けである。島田市のこども館のような屋内で、就学児も体を動かして遊べる施設を作って欲しい。
- ・ 袋井は子どもが多く、大きな公園がないので老若男女がくつろげる自然な公園があるといいなと思う。
- ・ 公園を増やして欲しい。海の方に一個公園が欲しい。

園について

- ・ 幼稚園の預かり保育だが、就業者は無償で使えてとても便利だと思うが、色んな事情で働いていない保護者は有料なのは不公平に感じる。むしろ就業者は収入があるのですから、逆でもいいくらいではないかと思う。1人500円だが、2人いたら倍かかる。リフレッシュに使えるとしても利用を躊躇する方もいると思う。
- ・ 子ども2人を認可の施設に通わせていた時、保育料が月10万円かかり大変だった（あとから補助金で戻ってきたが）。今は保育料無償化になり3人目…と前向きに考えられるようになった。

学校や特別支援について

- ・ 支援級の決定が10月にしては早すぎるので、すぐに決められない人のために3学期始めまで猶予がほしい。
- ・ 親が、支援学級の先生に直接疑問をぶつけにくい場合に、間に入って下さる先生がいるようなシステムがあると良いのではと思う。
- ・ 学校応援市民ボランティアさんをたくさん募って学校で授業補助や学習支援をして欲しい。

医療費について

- ・ 18歳までの医療費の無料化を願う。
- ・ 土日祝日の夜間外来で、磐田市立総合もしくは中東遠に行くことになるので受給者証が使えない？申請が要る？のが分かりづらい。
- ・ 袋井市は小学生未満の子どもの医療費が無料だったり、小学生以上も500

円と安くて本当に助かる。

習い事、子どもの預かりについて

- ・ 親、子の習い事、講座 どこでどんな習い事がやっているのか？金額、回数等を知りたい。
- ・ 障がいのある子ども学んだり体験できる習い事があればよい。
- ・ 小学校4～6年生の常時預かり所（学童受け入れ等）を検討して欲しい。

相談や支援について

- ・ 支援者側からですと、保護者が相談をしやすいような環境であったり、もう少し簡単に相談できるような場所が増えたら、より良い子育てに繋がると思う。まだまだ、ハードルが高いと感じて相談やその先の支援に繋がっていけない事も多々ある。
- ・ 不登校の子どもたちが通える居場所としてももう少し選択肢があるといいなと思う。
- ・ 支援の必要な親子やご家庭が増えている気がする。細やかな支援、長期による支援を、願います。支援が必要な保護者がおられる家庭では、ヤングケアラーの可能性も視野に入れ、対処できる機関があると良いと思う。
- ・ 他の市に比べると色々な面で遅れていると思う。もっと気軽に話や相談が出来る場が必要。

その他

- ・ フッピーのぽっけ（アプリ）とホームページに、ユーザビリティ調査、ユーザーインタビューを取り入れて改善をして欲しい。必要な人へ必要な情報が届くために、改善を続けて欲しい。
- ・ 検診が、一箇所遠いので浅羽の方にもあったらとても助かる。
- ・ 多世代に渡り、地域の方との共生ができれば素晴らしい。
- ・ 環境が整っているので、子育てしやすいと思う。

⑦その他、全体に関する意見

ハンドブックの感想

- ・ 冊子は目からみてわかる情報だからありがたい。冊子ができ、よりよい発信ができています。あとは連携、つながりを今以上に充実していただけたらと思う。子を持つ保護者は、冊子はとてもありがたいと思う。
- ・ 保育園の情報を調べたり、検診内容を確認したりするとき、毎回ネットで探して PDF を開いて…と手間に感じていたので助かる。大きすぎず、電話番号も載っているので、置き場所に困らず使いやすい。
- ・ 未就学児の発達支援について訳も分からずとりあえず言われるがままあちらこちらへ出向き、なんとか児童発達支援に通わせて貰えたので、P23 のように分かりやすくまとめているので、今後どうしたらいいか悩んでいる方も迷うことがないのではないかと思います。
- ・ このハンドブックでたくさんの親子が将来の不安を少しでも安心にかえることができると思う。
- ・ 保護者の方への説明や紹介などとても分かりやすく出来そう。
- ・ 保護者の体験談が各章ごとにあり、参考になると思うのですが、章ごとにレイアウトやイラストが違うので、統一した方が見やすいのではと感じた。
- ・ 今回ハンドブックを作ってくださったことで、育児に悩んだ時に、こんなにたくさんの支援があるのだと知って助かる方が増えるだろうと、期待している。各支援機関の方のコメントも、待っていてくれるような温かみを感じた。
- ・ 必要な親子に届くよう願っている。
- ・ 優しい温かな冊子は目から鱗です。ありがとうございます。
- ・ 数年前に子どもの発達の事で悩んでいた。その時にこんな冊子があったらよかったなと思った。
- ・ 今回、はなさきの編集に子育て中のママ達が尽力してくださったことに、たいへん感謝している。現役の母親だからこそ、ここまで充実した冊子になったのでしょう。
- ・ このような冊子ができることを待っていた。作っていただきありがとうございました。とても分かりやすく助かっている。
- ・ 様々な機関を紹介していただき、とても参考になった。保護者との面談で積

極的に使用したい資料だ。

ハンドブックの今後

- ・ 冊子をそのまま PDF として web にあげても、ダウンロードしないと見られず、必要な情報を検索しにくいかなと思う。落ち着いたら web 上で見やすいように改めて冊子の内容をアップし直すとより見やすくして利用しやすいサイトになると思う。
- ・ 子育てをしている全世帯の手に必ず渡るようにしてほしい。
- ・ 冊子が完成したこと本当に感謝する。是非毎年新しい情報や市民の意見を取り入れながら更新していってもらえることを願っている。
- ・ 今回作成した冊子は、小学校までの保護者に向けて配布していますが、冊子後半の内容は、中学生以上の保護者にも役立つ情報なので、希望したらもらえるようお知らせしても良いかと思う。
- ・ 電子配信だと、字が小さくなってしまふのと、自分の拾いたい情報しか見ない可能性があるのでは、冊子にして、たくさんの情報を得てもらえると良いと思う。
- ・ 今後、現状が変化した時の更新はどうするのか、市と保護者、子育てに関わる支援者達も連携していけるとよいと思う。
- ・ 毎年更新して、最新の情報を載せてほしい。

袋井市への感想

- ・ 袋井市は子どもたちが遊べる施設公園がいろいろあり袋井市に住み、よかった。
- ・ 相談したり頼れるところがたくさんあって安心して子育てや生活ができています。
- ・ 他市から引っ越してきたが、袋井市は子育てしやすいと感じる。子どもの発達の相談や、子育てしながらの仕事もこども園・放課後等デイサービスのサポートがあるから出来ることなので、助かっている。

その他

- ・ 学校の給食をもう少し良くして欲しい。
- ・ 学校で支援級の子、交流の子と分けられている感が強く、支援級の子と言うだけで、問題児と勘違いしている子どもが多いと思う。発達障害があっても

交流にいる子もいるので、もう少し発達障害について交流の子もその親も理解が増すような環境を作ってほしい。最終的には支援級の子も交流の子も支え合って学校生活を送れるようになってくれることを願っている。

- ・ 同僚から磐田市は中学の通学自転車購入に補助金が出ると聞きました。袋井市もそうなったらいいなと思う。
- ・ 職員さん、お医者さんの手が多くない中での課題なので実現は難しいと思うが、コールドクターが使えるようになる、#8000の繋がりにくさが解消される…と安心できると思う。自身もだが、症例に知識がないので乳幼児の体調不良に焦ることが多々あるので。
- ・ 保育士、支援員を市全体で増員して欲しい。
- ・ 企業型で2人目だと、年少にあがるとマックスのお金がかかってしまうので、掛川みたいに補助の金額があったらいいなと思う。また、年子でないと、3人いても保育園のお金かかってしまうこと。

6. 編集委員会からの意見

- ・ ハンドブックを継続して発行を希望する。
- ・ 相談機関の名称や福祉サービスは毎年変更があるため、最新の状態を把握したい。
- ・ アンケート結果には表れていないが、ハンドブックを発行後、子育て関係の支援者から、「一覧になっているので重宝している」という意見を、編集委員宛に複数いただいた。

アンケート設問に関する編集委員の意見

- ・ 義務教育終了後の相談機関について、どのようなところにどのようなことを相談できるか知りたい。
- ・ 特別支援学校や支援学級在籍児童の進路や将来の選択肢を事前に知る機会があるとよい。
- ・ 不登校児童生徒を抱えた保護者の集まりがあれば知りたい。
- ・ 各学校で情報の共有に差があると思われるが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにどのような手順で相談ができるか明示して欲しい。
- ・ 袋井市民が受診できる児童精神科の病院がもっとあるとよい。
- ・ 就学の時と、中学校へ進学する時に、支援計画の引継ぎが難しいと感じる。
- ・ カンガルーのぼっけで遊ぶ際には、未就学児と小学生のきょうだいを一緒に連れていった場合に、小学生は専用の部屋で遊ぶように指示をされて、未就学児のきょうだいと距離が離れてしまい、同時に見守ることは難しい。他市町の児童館では、一定のルールのもと同じフロアで遊ぶことができるため、見守りがしやすい。遊具やトランポリンで遊べるのは未就学児のみで、不便を感じる。

7. 考察

ハンドブックを冊子で発行する意義

- ・ アンケート結果が示すように、ハンドブックを手にとった 9 割程度の方が「わかりやすく」「役立つ」ハンドブックとして認識していただいた。

- ・ 今後の発行形式は、冊子(とデータを含む)を望む意見が9割を超えている。
- ・ 子育て支援情報を一元的に掲載したことで、袋井市や静岡県の各種資源が可視化された。また、体験談や支援者からのメッセージ、地図やフローチャートを掲載したことで、より支援先のイメージが湧きやすく、アクションを起こしやすくなったと考えられる。

令和6年度のハンドブック発行について

- ・ 自由記述からも継続的な発行を望む声が多数あり、発行部数は予算との兼ね合いがあり検討の余地があるものの、冊子(ハンドブック)形式とデータの併用で、初版の内容の過不足を修正しながら改訂を行っていくべきである。
- ・ 発行元としては、民間有志がボランティアとして公的な情報を逐一確認して改訂していくことは、資金やマンパワーの限界があり、今後は袋井市の事業として予算を確保し、実行していただきたい。

ふくろい子育てハンドブックはなさき 2023

報告書

—令和5年10月発行—

発行：ふくろい子育てハンドブックはなさき編集委員会
篠田 久美 竹本 聡子 大石 愛子 鈴木 優 鈴木 竜太

デザイン：鈴木 やよい 守屋 瑞紗

令和4・5年度袋井市協働まちづくり事業